

創造と可能性を求めて

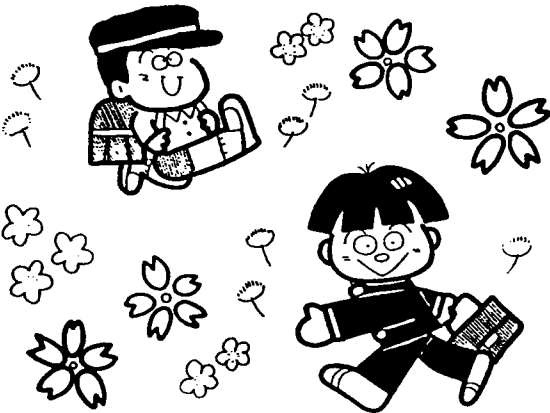
深小学校 齋 春田 美恵子



このたびの人事移動で文化と教育の町 自然のあふれる深町の小学校に巡り合わせて頂きましたことをうれしく思います。深町の一人としてお世話になります。私が深小学校にまいりまして三週間近くが過ぎようとしております。まず、思いますのが子どもたちの笑顔と挨拶の元気な声がステキなこと。私の深小学校の一日の始まりは、こどもたちのさわやかな朝の挨拶からです。朝、運動場を元気に走り抜け、「おはよう。」と手を振って挨拶してくれるたび、一日の活力が湧いてくるようです。また、地域の方々からの学校への期待と支援をひしひしと感じております。学校や地域のことを教えて頂くたびに、子どもたちの教育を通じて少しでも応えることができればと思っております。

宇宙飛行士の向井千秋さんが昨年、スペースシャトルから応募を呼びかけた短歌の下の句の入選作品を読まれましたか？向井さんの上の句は、
☆宙がえり何度でもできる無重力
これに対する下の句に選ばれたのが
☆水のまりつき できたらいいな
この句は10才の少女の句です。ほかの受賞作品は
☆星が またたき拍手する
☆次に行くのは僕たちの番
☆星のピアノでは僕たちのおうた

何でもやってみようという気持ちになり、活動的になります。深町の一人ひとりの子どもたちが、学校や地域という集団の中で心身のエネルギーを発散させながら知識と共に、多くのことを学べる活動に取り組みたいと思っております。この深町では、田植えやふれあい祭り等、文化や規範を共有する場があり、



絵を書くとき、どんな名人が書いても絵にならないものといふのが逆で、どんなに絵心のない者が書いても絵になるといふ風景だっております。それが、深町です。これから変わっていくとき、その良いところが残ることを望みます。幸いにも、藤井川河川改修工事自然に優しい配慮がなされていると聞きました。実際にこの目でも見ました。学校の前にたまった水の豊かさ、嬉しくなります。わずかに二週間の子どもたちとの生活しかないので、間違いがあるかも知れませんが、子どもたちは、この自然にはぐくまれているという面が弱いように思っています。私は、糸崎の国道ぎわに住んでいます。排気ガスの臭いがする空気、窓を開けると会話の声

すばらしい深町の自然

深小学校 齋 亀山 弘通

四月より、深小学校でお世話になっていきます。西小学校に二二年間いりましたが、その間に校区がすっかり変わって経験をしました。見渡す限りの田んぼが街になりました。メダカ・ザリガニの住むところが在るか無いかの常態になりました。深小学校区も、同じように変わるのでしょうか。みなさんは、お気づきでしょうか。この深小学校区の美しさ、ちょっとそこらにはない美しさです。以前から、県道五五号線を車で走っているとき、それなりに美しさを感じていましたが、自分の足で校区を移動するようになって、その美しさをしっかりと見ることができ、新たな発見

地域の人たちが手を携えて、子どもたちを育てていく環境作りを努力されていることはすばらしいこととおもいます。私も、この豊かな地域と人材に恵まれた深町で共に子どもたちの教育に取り組みたいと考えております。どうぞ暖かいご叱咤とご指導をいただきますようお願いいたします。

ご芳志
子ども会 元食 ■ 西本 薫
平素は子ども会活動につきまして、格別のお力添えを頂き心より感謝申し上げます。先般、キックベースボール、ソフトボールのユニホームを更新したく、皆様の資金援助をお願いしたところ、二八七・五七九円の援助を頂くことができました。皆様ののお力添えにより、出来上がったユニホームを着て、子どもたちは新たな技術、精神力、忍耐力を養い、必ずや初期の目標を達成してくれるものと確信しております。今後とも応援よろしくお願い申し上げます。

お知らせ
今年も田植えの季節がせまりました。ダム放水は五月五日を予定しております。(定規決まり百水利組合発行) 昨年は五月二日に放水してまいります。 水利組合 石井静夫



が聞こえにくくなる騒音、トラクターが走ると池の水面が揺れる振動、これはひどいものです。一杯にしていきます。桜も咲きまもと緑を置いていきます。池もメダカのための大きな池があります。それらのせいか、メジロもウグイスもシジュウガラもヒヨドリもホオジロもと鳥がきます。虫だつて、セミのゆりかごのように土は、穴だらけになります。毛虫もガもカも：：へびだって毎年卵からかえります。私は、良いところに職場を得ることができたと感謝してまいります。 よろしく申し上げます。

謹んでお悔み申しあげます

★藤田美智子様 九一歳 一八日

五月町内各種団体行事予定

◆小学校(幼)

▼参観日(小・幼) 七日

▼(修学旅行説明会)

▼貯金日 一〇日

▼体重測定(幼) 一〇日

▼体重測定(低) 一〇日

▼集金日・弁当始め 一二日

▼体重測定・聴力検(高) 一二日

▼修学旅行 一三・一四日

▼避難訓練(幼・小) 一六日

▼よもぎつみ(幼) 二〇日

▼誕生会(幼) 二六日

▼田植え学習 二九日

◆町内会連合会

▼定期総会 六日

◆子ども会

▼廃品回収(種多) 八日

▼対外ソフト試合(学少) 九日

▼同(糸崎少) 一六日

▼同(仲崎少) 三〇日

◆水利組合

▼定期総会 一日

◆女性会

▼親睦会 上組 二日

中組 一日

下組 六日

◆消防団

▼結団式 六日

めったに見られぬものは高いお金を払っても見たくなる。スーッ身に包んで一分の隙も向かせない男性をみれば、切るときは業務処理する「一切れ者」を連想する。▼人間誰れにも日頃接しない職業の人には興味をもつ。未知の世界への憧憬だろうか。そんな職業の一つに「教職」がある。日本の明日を背負って立つ人間教育に、使命感をみなぎらせて対処されている、と思っただが左にあらす、小学校の先生の三〇％が「担任を辞めたい」と考えたことがある。と、日教組の全国調査は語った。(西島昌徳)▼自分の自由で歌を歌ったのである。算数や国語が教えられるのであればよいのだが、制度上そのうなっているなら、外部から眺めてうらやましいことの一つは、「人づくり」に直結した職業であることだ。これは、物造りには味わえない醍醐味であるまいか。又、仕事のやり甲斐の一つに「成果を上げること」がある。▼職業選択の自由は保障されている。学級担任が重荷なら選択肢は自ずと限られる。辞めればよいのである。辞めて自由を謳歌すればよろしい。後が気になる：：？その心配は無用の。新進気鋭の人材は豊富。この国、今、人は有り余っている。

深の歴史余話 (十二)



堂さん巡り (4) 高崎 壽郎
 中畑三木堂 盛末地藏堂
 千川千川堂 盛末地藏堂

堂は一般に辻堂といわれるように、村落の主要な交差点、村境、峠などに位置していた。比較的平坦な集落だと、道路に面して田園の中にぼつんと建つものもあり、旅行者の休息、住民の自由な集会所としての機能をもつところから、集落全体から眺望できる場所が選ばれている。また、住居の点在している山村では、峠や村境に建てられ、堂と並んで地神碑、常夜燈、道標なども建っていたりする。だが、土地の神社仏閣とは完全に遊離し独立しているのが特徴である。

明治以降、道路の関係で、道路ぞいに若干の移転を行なったものもあるが、宗教的關係から移動しないまま、旧道にひっそりと取り残されているものもある。深の場合、移転された堂は六を数える。

三木(さんき)堂は、中組中

千川堂は中組千川にあり、木造寄せ棟造りスレート葺。



三木堂の石仏
 本尊は地藏菩薩で、石仏六体(丸形坐像)が安置されている。堂守りは乗兼進さん一家。この堂は、乗兼一族の連帯強化と繁栄を祈念して建立されたもので、文政二年(二八五)の古地図には載っている。

本尊は地藏菩薩で、石仏六体(丸形坐像一と船形坐像五)から成る。この堂は以前、小川広光さん宅横にあったが、大正年間に、萩原進さん宅地内に移転再建された。萩原さん一家が管理。堂とはいえ、かなりこった細工がされており、特に宝珠と合天上は見事である。

盛末地藏堂は、下組から久山町へ通じる道(旧尾道一八幡い)の山裾にひっそりと建っている。木造切り妻造りカワラ葺。本尊は地藏菩薩で、石仏三體(船形坐像)がある。

この堂は、芸藩通志載っている古い堂であるが、最近では昭和四四年(二六五)堂修理の棟札がある。集落からは少し見えにくい所に堂はあるが、河原キクヨさん一家が熱心に世話をされている。記録によると、明治一三年(二六〇)時の戸長(後の村長)乗兼裕四郎は、山野道場として深にある十五の堂宇を調べ、御調郡長 石川完治に報告している。

教育現場で思うこと 三

成末 肇士

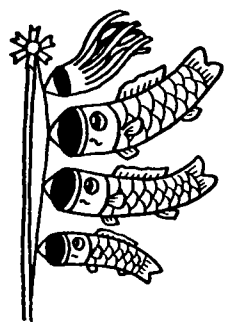
中央教育審議会(中教審)の数次にわたる答申に対し、私は、総論賛成、各論疑問の立場をとります。

第一の疑問として、教育改革の一番の核は「大学改革」にあり、その大学改革が答申には抜けています。そこで大学改革に対する私見を前回述べてみました。

第二の疑問は「完全学校五日制」です。文部省は二〇〇二年から完全学校五日制を実施するとし、新しい学校指導要領を、昨年十二月に告示しました。新学習指導要領の概略は、①「総合的な学習の時間」の創設。②「小・中学校の年間授業時間を七〇単位時間削減。③授業内容の厳選、削減。④時間割や教育内容の扱いの弾力化。これらの具

断し、行動し、問題を解決する力」のほが「生きる力」を育てる手段として「ゆとり」が必要ならず、「生きる力」を育てるために必要な教育内容を考え、厳選した結果授業時間を割りだすべきでしょう。そうなるかもしれません。

週五日制を採用することが先にあつて、それに合わせて時間数をだし、授業内容を厳選し減らす。考え方が逆転していると思いませんか。週休二日制は、戦後日本が高度経済成長し、世界中で日本が



経済的に優位になった。これを避難し「経済優先。生活や文化貧困」と指摘され、経済界で採用されたものです。

公務員の週休二日制完全実施をめぐらした労働省の要請により学校週五日制の試行が行なわれました。教職員の週休二日制実現のため、学校週五日制です。この試行期間中の成果、評価も教育上の効果も完全に論議されず

町内各団体 人事

今年度(九九年)は次の方が深町のお世話をしていただきます。敬称略

- ▽町内会連合会
 - ・会長(中倉) 高崎 出旭
 - ・副会長(上倉) 幸谷 満夫
 - ・同(下倉) 梶谷 和伸
- ▽女性会
 - ・会長 林 一恵
- ▽尚寿会
 - ・会長 森本 忠
- ▽消防団
 - ・団長 麓 正徳
- ▽子ども会
 - ・会長 井手上 孝
- ▽PTA
 - ・会長 小川 敦道

小学校(幼) 人事

- ・教頭 春田美恵子 (兼任) 市教委
- ・教諭 亀山 弘道 (兼任) 四小校長
- ・教頭 犬石 直助 (兼任) 沼原小
- ・教諭 大塚美由紀 (兼任) 木原小

深小(幼)児童数・担任	
学年	男 女 計
一年	七 四 一一
二年	八 七 一五
三年	四 一〇 一四
四年	二 二 四
五年	九 六 一五
六年	五 八 一三
計	四二 三七 七九
幼年長	七
幼年少	二
計	九
担任	担 任
一年	坂 野
二年	亀 山
三年	萩 原
四年	全 空
五年	萩 原
六年	萩 原
計	萩 原
幼年長	萩 原
幼年少	萩 原
計	萩 原

の学校教育制度をつついても、あまり成功は期待できないのではないのでしょうか。学校は本来子ども達が安心して遊び、遊べる場所であるはずですが、土曜日に知識だけを教え込むのが駄目なら、教員と一緒に養育課外活動や運動遊びをしたらよいと思うのですが...

春夏秋冬

梶谷 マサヨ

水害で 不明となりし お地藏さん
 助けてあげたし いずこにおわす
 長閑(ささ)なる 山里とのみ 思いした
 「いのしし」被害に 農民は泣く
 経よむを 日課となりし 今日日頃
 読み終えし時 心安けし

男女別	有権者数	投票者(不在者含む)	投票率 %
男	374	290	77.5
女	407	327	80.3
計	781	617	79.0

今回(三五)行なわれました市会議員選挙の深町での投票結果は次の通りでした。